

香川大学の情報戦略 ～平成 28 年度活動報告～

林 敏浩¹ 福家 隆² 近藤まゆみ² 末廣紀史²
 T.Hayashi¹ T.Fuke² M.Kondo² N.Suehiro²
 (総合情報センター¹, 情報グループ²)

1. まえがき

香川大学には総合情報センターのコンピューターシステムとネットワークシステムの他に事務系の業務システムなどがある。情報戦略部門では、これらの情報システムなど大学情報及び情報基盤の戦略的整備計画の策定に関することを扱っている。また、本部門では教育戦略室、大学教育基盤センターの ICT 教育部や情報リテラシー部会などの学内組織とも連携を取り、業務を遂行している。

2. 情報化推進計画の策定

平成 29 年度には、ネットワークシステム、キャンパス間回線、コンピューターシステムという大学の情報基盤の中心となる 3 案件を更新する必要がある。情報化環境の変更に合わせ、効率的なシステム構築と安定稼働の環境確保のための検討、学内調整を行った。



図 1. 総合情報センターの主なシステム更新案件(工程案)

従来、コンピューターシステムの更新の半年後に、ネットワークシステムの更新というサイクルであったが、**データセンターへ移行するには**、まずネットワーク基盤を固める必要があるため、コンピューターシステムのリースを 1 年間延長し、ネットワークシステムの更新とコンピューターシステムの更新時期を前後させることとした。

また、事務系の業務システムについても、サ

ーバ OS, クライアント OS サポート終了時期を勘案し、担当部署と更新計画を策定し、導入業者との調整を行った。

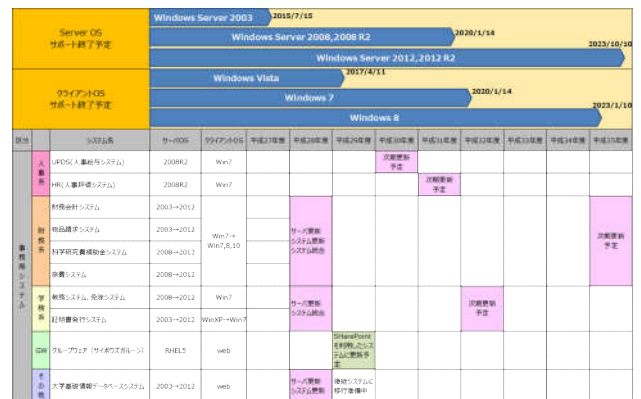


図 2. 事務系業務システムの更新計画

3. 総合情報センター業務継続計画(BCP)

災害が発生した際に使える、具体的な復旧手順のチェックリスト(復電の仕方、**サーバ**の上げ方など)となるものを作成している。人に依存せず、駆けつけた人が復旧できるようにすることを考えて整備中である。

4. 他部署のシステム更新案件の支援・調整

従来、各部署でシステムを導入したり更新する場合、総合情報センター・情報グループへ協力依頼範囲や内容が曖昧なまま、依頼されることが多かった。

導入後の運用時、システム管理の役割分担が曖昧になることを防ぐため、「事務情報化に係るシステム導入・開発協力依頼書」により、担当部署の長から依頼いただくようにした。これにより、システム化の内容や運用における責任範囲を明確にすることが可能となった。2016 年度は、13 件の案件について、支援・調整を行った。特に各部署の情報公開ページについての依頼が多かったため、学内のホームページ更新方法について、整理をおこなった。